



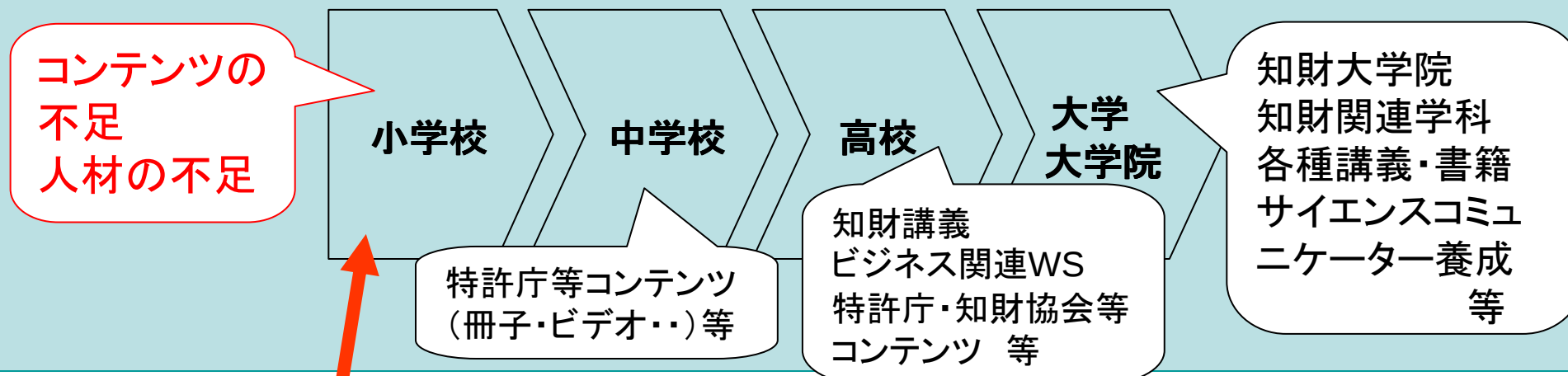
knowledge
mobility
system

KMS FY2010 活動報告

2011年4月16日
発表者 西村由希子

KMSは知財・科学技術の絵本をつくって、知識を社会に広めています

知財教育・啓蒙活動の現状



ターゲット：
小学生
小学校教諭
小学生保護者

- 早期からの発明・知財啓蒙教育
 - 知財啓蒙教育のコンテンツの充実
 - 知財関連人材不足の問題等の解消
- の必要性

KMS



知財・科学技術絵本を作成し
「読み聞かせ」という手法を用い、
全国小学校にて知財啓蒙活動を実施



knowledge
mobility
system

絵本作成・啓発の目的

絵本を通じて「特許」に対する知識を正しく得つつ、
「はつめい・はっけん」への興味を養う

「知財絵本読み聞かせ」とワークショップの実施
本絵本の初等教育における効果の検証

義務教育課程に組み込める知財教育の実践

総合学習時間、もしくは理科の時間の中で「科学(理科)実験」と「知財絵本
読み聞かせ」とを合わせた教育プログラムの実施
理科実験を通じた「発明・発見の心」の育成



knowledge
mobility
system

KMSの軌跡(2002~2011)

オーガナイザー

西村



丸



メンバー

・学生
・社会人
・企業経営者
・主婦・・
(MLメンバー
35名)



2002年4月20日 smipsの分科会として発足

その後、月に一度のMeetingを基に、各種活動を開始

2002年秋～ 知財絵本製作開始

2003～ 日産科学振興財団助成金獲得

2004～ 日産科学振興財団助成金獲得

2005年3月 KMS絵本1, 2巻発売

2005～ 各地域小学校にて読み聞かせ・WS活動開始

2005～ 日産科学振興財団助成金獲得

2005～ 子どもゆめ基金助成金獲得

2006～ JST SPP助成金獲得

2006年 日本知財学会口頭発表(若尾)

2006～ 読み聞かせと理科実験組み合わせ活動開始

2007年 東京大学先端研と(株)リバネス 共同研究開始(科学技術・知財初等啓蒙活動の実践)(2009年度も継続)

2007年6月 日本知財学会口頭発表(西山)

2008年3月 KMS絵本3巻発売

2008年6月 日本知財学会口頭発表(村松)

2008年度 英語版(ドラフト)作成、

USPTO/WIPO関係者と意見交換実施

2009年 特許庁講義(西村)

2010年 新規コンテンツ作成実装・リーダー制導入

2011年 宇宙絵本4巻完成

その他 各種講演等あり



knowledge
mobility
system

2010年度のKMS

- できたこと
 - 絵本4巻ほとんど！（絵の作者がかわりました！）
 - 新規ワークショップコンテンツ作成・実施
 - 某小学校との来年度年間契約
 - 全校生徒対象とした絵本読み聞かせ（北海道 留萌）
 - KMS紹介ビデオ作成
 - 実験教室リーダー担当制
 - 新規読み聞かせメンバーの参入！そして呑み会！
- できなかったこと
 - 絵本5巻着手
 - （震災のため）宇宙の実験教室（延期）

絵本4巻がやっとできました！

- 今までにはないストーリー展開！
- 女の子が主人公！
- 監修者(永田晴紀北大教授・植松 努カムイスペースワークス)
大絶賛！「素直に面白い」
- いつもの通り全員参加の作成！
- 1～3巻との組み合わせの読み聞かせが可能！（もはや続きものではない…）

しおりちゃん
宇宙へいく

～ぺっこる星人と
出会っちゃう！
のまき～



4巻以降はまずは発売よりも実験教室使用(PPTバージョン)を目指しています。



knowledge
mobility
system

ワークショップ開催

- 7月3日 9月18日 新しいコンテンツによるワークショップを開催
(江戸川区立東川小学校)
各回約30名の児童+10名の父兄参加・10名のKMSメンバー参加
- 12月21日 留萌市立小学校・児童館(各回50名(全校生徒)/20名)
- 秋以降はコンテンツ作りを地味に続ける(Smips以外に何度も会合を持つ)
→絵本が「読める」メンバーを着実に育成



来年度以降も、科学技術実験と知財をもちこんだ「はつめい・はっけんのころをそだてる」取り組みを実施！



knowledge
mobility
system

今年度は・・・

- 宇宙絵本をつかった新規コンテンツができます。
- 今年以上に課外活動が増え、呑み会も多分増えます(近頃は会合時のスイーツお披露目が多い)
- 読み聞かせはコンスタントに実施します(今年はすでに5度確定)
- 新しい絵本をつくっていきます。
- それにあわせて、新しいコンテンツをつくります。
- 多彩なメンバーとともに、今のメンバーで実施できることを考えていきたいと思います。
- サービスという意識を大切にして、お客様と楽しみながら、真剣に取り組めます。



knowledge
mobility
system

これからもがんばります。

是非、一緒に「ものづくり」を
楽しんでください。
仲間は継続して募集中です！

KMS分科会メンバー 一同